



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	特色ある基礎牛の造成	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—			安全・安心で高品質な畜産物の産地として信頼される基盤づくり			
活動指標	指標	a	但馬牛保有率	b	SCD遺伝子検査	c	乳用牛生産乳量	d
	数値	目標	30%	目標	—	目標	8,000kg	目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
特色ある基礎牛の造成		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 但馬牛保有率	%	23.5 %	27.4 %	30.2 %
		78.3 %	91.3 %	101.0 %
b SCD遺伝子検査	頭	440 頭	380 頭	—
		100.0 %	86.4 %	—
c 乳用牛生産乳量	kg	7,259 kg	7,563 kg	7,636 kg
		90.7 %	94.5 %	95.5 %
d		—	—	—
		—	—	—

## 4. 課題と対応

課題
近年、配合飼料価格の高騰や疾病の発生、相場の変動等刻々と変動しており、経営状況は非常に厳しく改良速度が思ったより進まない。
対応（改善点等）
農家の基礎牛の調査を行い能力の低いものは淘汰し改良速度を速める。

## 5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

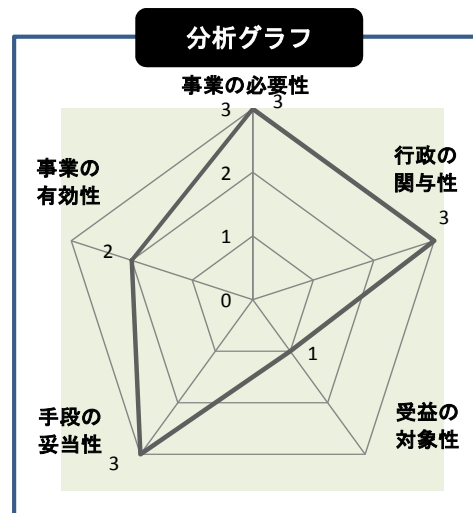
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		16,169	19,070	10,732	15,927
うち経常経費		12,800	16,710	9,150	15,927
財源内訳	国費				
	県費	1,725	1,125	1,050	
	市債				
	その他				
	一般財源	14,444	17,945	9,682	15,927
うち経常		12,800	16,710	9,150	15,927
事業費に係る人件費		7,998	5,840	4,795	3,548
事業費に係る人役		1.86	1.36	1.10	0.80

## 6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市単事業等の規則及び要綱を見直した。継続して肉用牛の改良に努める。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 生産基盤の弱体化を招いており、畜産物の価格に大きな変動が起きていることから、早急な対応が必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 改良は、常に時代を担うもので、市・JAが中心となって推進していく。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 本事業は乳・肉用牛農家の所得向上を目指すものである。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 短期間での事業の取組が必要なことから目的達成のために必要。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 景気低迷により経営状況は非常に厳しく改良速度は思ったより進まない。



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき、事業を検証し推進すること。